

令和2年度珠算・電卓実務検定試験

第1級 ビジネス計算部門 (制限時間①・②合わせて30分)

(注意) I. 減価償却費・複利・複利年金の計算については、別紙の数表を用いること。
 II. 答えに端数が生じた場合は()内の条件によって処理すること。
 III. 選択問題は、A・B・Cのいずれか/項目を選択して解答すること。
 2項目以上解答した場合は、選択問題すべてを無効とする。

① 共通問題

(1) ¥7,420,000を年利率2.3%の単利で9月4日から12月9日まで借りると、期日に支払う元利合計はいくらか。(片落とし、円未満切り捨て)

答 _____

(2) 20米トンにつき\$9,738.40の商品を70kg建にすると円でいくらか。ただし、1米トン=907.2kg, \$1=¥108.20とする。(計算の最終で円未満4捨5入)

答 _____

(3) 額面¥584,000の手形を割引率年3.05%で1月19日に割引くと、割引料はいくらか。ただし、満期は3月5日とする。(うるう年、両端入れ、円未満切り捨て)

答 _____

(4) ¥3,710,000を年利率5.5%、1年/期の複利で9年間借り入れると、複利終価はいくらか。(円未満4捨5入)

答 _____

(5) 取得価額¥830,000 耐用年数14年の固定資産を定率法で減価償却すれば、第3期末減価償却累計額はいくらになるか。ただし、決算は年/回、残存簿価¥/とする。(每期償却限度額の円未満切り捨て)

答 _____

(6) 翌年2月3日満期、額面¥9,100,000の約束手形を割引率年2.95%で11月27日に割引くと、手取金はいくらか。(両端入れ、割引料の円未満切り捨て)

答 _____

(7) 年利率1.9%の単利で1年3か月間貸し付けたところ、期日に元利合計¥5,282,550を受け取った。元金はいくらであったか。

答 _____

(8) ある商品に原価の2割8分の利益を見込んで定価をつけたが、定価から¥76,800値引きして販売したところ、利益額が¥147,200となった。利益額は原価の何割何分何厘か。

答 _____

(9) 5年6か月後に支払う負債¥4,260,000を年利率5%、半年/期の複利で割引いて、いま支払うとすればその金額はいくらか。(¥100未満切り上げ)

答 _____

(10) 仲立人が売り主から3.8%、買い主から3.7%の手数料を受け取る約束で商品の売買を仲介したところ、売り主の手取金が¥6,445,400となった。買い主の支払総額はいくらか。

答 _____

(11) 8月24日満期、額面¥467,390の手形を6月14日に割引率年6.35%で割引くと、手取金はいくらか。ただし、手形金額の¥100未満には割引料を計算しないものとする。(両端入れ、割引料の円未満切り捨て)

答 _____

(12) 次の3口の借入金の利息を積数法によって計算すると、利息合計はいくらになるか。ただし、いずれも期日は7月13日、利率は年4.3%とする。(片落とし、円未満切り捨て)

借入金額	借入日
¥2,100,000	4月20日
¥8,900,000	5月16日
¥1,700,000	6月8日

答 _____

(13) ¥360,000を年利率6%、半年/期の複利で6年9か月間貸し付けると、期日に受け取る元利合計はいくらになるか。ただし、端数期間は単利法による。(計算の最終で円未満4捨5入)

答 _____

(14) 50枚につき¥48,000の商品を5,600枚仕入れ、諸掛り¥224,000を支払った。この商品に諸掛込原価の40%の利益を見込んで定価をつけたが、3,360枚は定価の15%引きで、残り全部は定価の25%引きで販売した。総売上高はいくらか。

答 _____

(15) 取得価額¥9,530,000 耐用年数35年の固定資産を定額法で減価償却するとき、次の減価償却計算表の第4期末まで記入せよ。ただし、決算は年/回、残存簿価¥/とする。

期数	期首帳簿価額	償却限度額	減価償却累計額
1			
2			
3			
4			

正答数	① 共通問題得点
(×5)	

試験場校	
受験番号	

正答数	総得点
(×5)	

② 選択問題

【選択A】 【複利年金の計算】

(16) 9,300,000を年利率7%, 1年/期の複利で借り入れた。これを毎年末に等額ずつ支払って10年間で完済するとき、毎期の年賦金はいくらになるか。(円未満4捨5入)

答 _____

(17) 毎半年初めに120,000ずつ6年6か月間支払う年金の終価はいくらか。ただし、年利率8%, 半年/期の複利とする。(円未満4捨5入)

答 _____

(18) 毎半年末に等額ずつ積み立てて、4年6か月後に8,400,000を得たい。年利率6%, 半年/期の複利とすれば、毎期の積立金はいくらになるか。(円未満4捨5入)

答 _____

(19) 毎年末に570,000ずつ7年間支払う負債を、いま一時に支払えば、その金額はいくらか。ただし、年利率2.5%, 1年/期の複利とする。(円未満4捨5入)

答 _____

(20) 毎年末に等額ずつ積み立てて、4年後に260,000を得たい。年利率5.5%, 1年/期の複利として、次の積立金表を作成せよ。(積立金および毎期積立金利息の円未満4捨5入、過不足は最終期末の利息で調整)

期数	積立金	積立金利息	積立金増加高	積立金合計高
1				
2				
3				
4				
計				_____

【選択B】 【証券投資の計算】

(16) 次の株式の指値はそれぞれいくらか。(銘柄D・Eは円未満切り捨て、Fは5未満は切り捨て・5以上10未満は5とする)

銘柄	配当金	希望利回り	指値
D	/株につき年 4.60	0.9%	
E	/株につき年 6.90	1.7%	
F	/株につき年 78.00	2.1%	

(17) 株式を次のとおり買い入れた。支払総額はいくらか。(それぞれの手数料の円未満切り捨て)

銘柄	約定値段	株数	手数料
K	/株につき 987	2,000株	約定代金の0.72600% + 2,222
L	/株につき 5,965	7,000株	約定代金の0.24750% + 77,517

答 _____

(18) 2.8%利付社債、額面3,900,000を9月1日に市場価格99.55で買入れると、支払代金はいくらか。ただし、利払日は4月25日と10月25日である。(経過日数は片落とし、経過利子の円未満切り捨て)

答 _____

(19) 6年後に償還される1.6%利付社債の買入価格が98.85のとき、単利最終利回りは何パーセントか。(パーセントの小数第3位未満切り捨て)

答 _____

(20) ある株式を1株につき3,457で6,000株売却した。手取金はいくらか。ただし、約定代金の0.3850%に21,560を加えた手数料を支払うものとする。(手数料の円未満切り捨て)

答 _____

【選択C】 【経営分析の計算】

(16) 次の損益分岐点に関する資料から、目標営業利益6,790,000を達成するときの売上高を求めよ。

売上高	74,520,000
変動費	41,917,500
固定費	32,602,500

答 _____

(17) 次の資料から、売上高総利益率を求めよ。(パーセントの小数第1位未満4捨5入)

損益計算書 (単位:千円)

期首商品棚卸高	720	売上高	()
当期商品仕入高	29,837	期末商品棚卸高	936
()	()		()
販売費・一般管理費	9,515	()	()
営業外費用	3,807	営業外収益	2,401
当期純利益	7,628		()
()	()		()

答 _____

(18) 次の資料から、受取勘定回転率を求めよ。ただし、売上高純利益率は5.6%であった。(回転率の小数第1位未満4捨5入)

受取手形	2,810,000
売掛金	3,683,000
利益剰余金	9,257,000
(うち当期純利益)	4,634,000

答 _____

(19) 次の資料から、流動比率を求めよ。(パーセントの小数第1位未満4捨5入)

貸借対照表 (単位:千円)			
現金預金	14,856	支払手形	8,413
受取手形	8,061	買掛金	7,534
売掛金	()	短期借入金	5,868
有価証券	7,387	社債	4,291
商品	436	長期借入金	6,032
短期貸付金	5,711	資本金	33,746
前払金	3,928	資本準備金	1,679
建物	20,195	利益準備金	907
工具器具及び備品	644	繰越利益剰余金	2,150
()	()		()

答 _____

(20) 次の資料から、売上原価率を求めよ。

売上高	78,246,000
当期商品仕入高	49,769,000
期首商品棚卸高	3,512,000
期末商品棚卸高	5,647,000

答 _____

試験場校		正答数	② 選択問題得点
受験番号		(×5)	